

アフリカ救済への人的援助

世界で最も深刻な飢饉に襲われているアフリカの人々を救うため一人の医師が三日夕、成田から出発した。「アジア医師連絡協議会」(AMDA、本部・岡山)の林秀雄医師(三七)日本のNGOが組織した「国際緊急救援NGO合同委員会」(委員長・有馬実成曹洞宗ボランティア会事務局長、JJN)の要請にこたえた。

合同委員会は、国内十一のNGOが集まり、今年一月に組織された。

日本のNGOは、「金だけて人を出さない」と批判される政府援助とは一線を画した活動を展開してきた。

た。しかし、人材、資金不足から欧米のNGOに比べて、援助が立ち遅れるなどの問題が浮かび上がっている。

委員会の最初の緊急救援先として選んだエチオピアのティグレ州では極度の食料不足に悩み、食料備蓄

その反省に立って「世界

先として選んだエチオピア

委員会の視察団によると、

林さんは国際協力事業団

エチオピアへ医師派遣

飢餓地域 3カ月滞在し治療

なった場所。空爆で多数の死者が出たうえ、医療施設も破壊された。特にシレ地区では、人口四十八万人に対し、診療所は一つ、医師も一人。

品、医師の派遣を含む医療援助を決定。委員会に参加するNGOのひとつ、AMDAに医師の派遣を要請した。林さんが応じた。

の緊急事態に効果的に対応

もあと一カ月分。「あと一

現地には交通機関がなく、

するシステムを作り、小さ

面で直接寝ている。「栄養

ため、車を購入する予定。

な団体も共に活動していこ

で、約百八十七万人が、緊

委員会ではその募金と、プ

うと、委員会を組織しまし

急救援を必要としている。

ロジェクトへの協力を呼び

た」と有馬委員長。アフリ

しかし、援助が約束されて

かけている。

力の飢餓はかなり深刻で、

いる食料は、必要量のわず

委員会は一万七千人の住

エチオピアを含む「アフリ

か三・七%だという。

推進センター ☎ 03・32

力の角」では、二千三百万

同州は内戦の戦闘地域と

支給と百万円相当の医薬